

平成27年度認定 (No. 78)

# 農業名人

アルストロメリア栽培名人 からさよ 唐澤 いさお 勲

昭和20年生まれ 箕輪町在住  
世界に一つだけの花を目指して



上伊那農業高等学校で農業について学び、卒業後就農。父親とともに果樹を中心に、菊・百合・りんどうの栽培を行なう。昭和54年、当時の箕輪町農業協同組合が導入したアルストロメリアの栽培を箕輪町でも先駆けて8aから始める。当初は、栽培技術取得のためにオランダへ視察に赴き研究を重ね、現在も上伊那花卉部会の仲間や育苗会社と情報交換し技術向上に努めている。

ハウス管理には、ハウス内の気温を自動制御できる機械を導入。夏は根が暑さで腐らないように土の温度を低く冷たくする工夫をしている。

更に肥料にもこだわりを持ち、箕輪町で初めて環境に良いとされる栽培方法「養液土耕栽培」を導入。電子メーター管理で品質や種類により分量を調整し、毎日データ収集・分析を行ない花を枯らさない工夫に取り組んでいる。栽培に使用する水も井戸水を使っているため近隣農地や下流への影響はない。

白・ピンク・黄色を中心に4品種から始めた栽培も、現在は約20aのハウスで11品種となった。栽培から出荷作業まで妻と二人で行い、出荷先はJAを通じて主に大阪方面が中心であるが、中京方面へも広がりを見せている。

「栽培方法に関して自分なりに考えたり、新しい品種に取り組むことが何よりも楽しい。今後も良い花を出荷することをモットーに意欲的に取り組んでいきたい。」と笑顔の向こうに秘めた思いを語る。

平成12年から15年まで、JA上伊那花卉部会の部会長を歴任。

西天竜土地改良区理事も務め、町の農業委員としても、平成24年4月から平成27年3月まで地域の農業振興にも尽力し、現在も良き相談役として活躍している。



平成26年信州フラワーショーサマーコレクション  
「関東農政局長賞」受賞

平成27年信州フラワーショーウインターセレクション  
「長野県知事賞」受賞

ほか多数受賞